

星合教授が予想する30年後

- **農 業**... 気候の影響を受けない工場生産になり、AIが生産量などを徹底管理
- **娛 楽 観 光**... 映画やテレビは3Dの立体上映に
一人一人の要望に沿った観光情報がオーダーメイドで入手可能
- **流 通**... 空に「ドローンの道路」ができ、空からの即時配達が主流に
- **買 い 物**... 街なかまで行かなくても、欲しい物がドローンですぐに届く
- **交 通**... 自動運転が主流。タクシーも、呼ぶ前にAIが気付いて来てくれる

この30年で日本の情報通信技術は加速度的に進歩しました。30年後はもっと進化しているでしょう。

現在のスーパーコンピューターが1000年かかる計算を、数秒で行う「量子コンピューター」が実用化されていることが予想されます。さらに、あらゆる場所にセンサーが置かれ、人の動きや五感の統計を取り、クラウド上でビッグデータを分析・学習したAI（人工知能）が動く。さながらSFの世界ですが、決して夢物語ではありません。



**SFの世界が
現れているかも…!?**

この30年、IT技術の進展などで私たちの生活は劇的に変わりました。では、30年後の暮らしは？情報通信の専門家に“大胆”予想してもらいました。



お話を聞いたのは

崇城大学情報学部情報学科 教授
工学博士 星合(ほしあい)隆成さん
NTT主幹研究員などを経て、平成24年4月から現職。「地域コミュニティブランド(SCB)」ならびにP2Pの提唱者として、多くの地域活性化プロジェクトに携わる。

どんな暮らしに変わってる？
**くまもと
30年後
大予想**